

大学院特別講義

(医歯学先端研究特論)

下記により大学院特別講義を行いますので、多数ご来聴下さい。

記

1 . 講 師 金沢大学大学院医学系研究科血管分子生物学 教授
山本 博 先生

2 . 演 題 進化の果ての宿命 - 糖尿病とその合併症
- 克服へのチャレンジ

3 . 日 時 平成 2 3 年 1 0 月 2 5 日(火)
1 0 時 0 0 分 ~ 1 2 時 0 0 分

4 . 場 所 M & D タワー 6 階 共用セミナー室 1 2

5 . 内 容

私たちは、血糖や血圧を上昇させる因子を多種類備えている。これは、わたしたちの祖先がたとえ空腹状態にあっても獲物をつかまえたり敵から逃れるため必然的に発達させた仕組みである。一方インスリンは、たまにしかありつけない食料を貯蔵型エネルギー分子に転換するための装置として発達した。また、脊椎動物が血糖として採用したブドウ糖は、直鎖型の存在状態を免れえず、このため糖化のリスクをもつ。進化が発達させてきたこれらの仕組みが宿命的に負の効果を現す状態、それが糖尿病とその血管合併症にほかならない。この負の効果の実体は何か、また、それらを私たちはどう克服できるか、につき考えてみたい。

連絡先 分子細胞機能学分野 吉田 美登里 (内線 5574)